

第51回 質疑応答

Q1：長野県内の貸出金の今後の見通しについて

A1：長野県の製造業の多くは海外との取引が多く、海外経済の影響を受けるため不透明な部分もあるが、ここ1～2年は横這いか若干プラスの見通し。

Q2：従業員数の見通しについて

A2：長野銀行との経営統合が実現すれば一旦は増加するが、定年退職等による自然減の傾向は続く見通しのため、業務の効率化及び人員のシフトを進めている。

Q3：自社株買いについて、自己株取得も独禁法の認可が取れないとできないという認識でよいか。

A3: 自己株買いについては、独禁法の認可が取れないとできないということではない。

以上